

帯広市農業技術センター試験実施報告書

実施農協
協力関係機関

帯広大正農業協同組合
日本農薬株式会社

1. 課 題 馬鈴しょそうか病に対する効果確認
2. 目 的 馬鈴しょそうか病に対する種いも消毒の効果を確認する。
馬鈴しょそうか病に対する新規殺菌剤の効果を確認する。
3. 設置場所 帯広市農業技術センター内ほ場
4. 供試作物（品種名） 馬鈴しょ（メークイン）
5. 試験規模 ①供試面積：0.9a ②試験区面積：0.6a ③反復：区内反復
6. 試験方法

試験区名	薬剤名	希釈倍数	処理方法	処理日	植付日
試験区①	モンカットプラスフロアブル	100倍	種いも浸漬	4月24日	5月15日
	アグレプト液剤	100倍			
試験区②	モンカットプラスフロアブル	200倍	〃	〃	〃
	アグレプト液剤	100倍			
慣行区	モンカットフロアブル40	200倍	〃	〃	〃
	アグレプト液剤	100倍			

7. 対象病害の発生状況（甚、多、中、少、無）：甚発生

8. 調査結果および効果判定

調査方法：試験区①、試験区②、慣行区において10株2反復で塊茎の掘り取りを実施し、対象病害の発病塊茎率を調査した（実施日：7月26日）。

試験区名	反復	調査塊茎数	発病塊茎数	発病塊茎率	
				小計	合計
試験区①	1	118	17	14.4%	16.8%
	2	108	21	19.4%	
試験区②	1	110	17	15.5%	16.8%
	2	128	23	18.0%	
慣行区	1	110	37	33.6%	32.3%
	2	113	35	31.0%	

9. 考察

モンカットプラスフロアブル試験区は慣行区に優る結果となり、馬鈴薯そうか病に対する種いも消毒の薬剤効果及びモンカットプラスフロアブルの効果が認められた。また、そうか病の発病塊茎率について、モンカットプラスフロアブル100倍と同薬剤200倍との間に防除効果の差は認められず、200倍での使用も可能と考えられる。なお、モンカットプラスフロアブルは慣行薬剤と比べて粘性が低く、浸漬処理後の水槽に残渣の付着が認められなかった（慣行薬剤はで残渣の付着が認められた）。

10. 普及性

本試験においてモンカットプラスフロアブルは慣行薬剤と比べて高い効果を示したと認められることから、普及性があると考えられる。